

教科	地理歴史	科目	地理総合	担当	
履修学年	1年	単位数	2	履修区分	普通科(必履修)
教科書	新地理総合(帝国書院)				
副教材等					

1 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	知識・技能	基礎的・基本的な事項から正確な理解を図るとともに、日常的に地図を用いて分布など地理的事象の空間的広がりを理解する。
b	思考・判断・表現	思考力・判断力・表現力等の育成に向けて学習した事項を踏まえ、その背景やそれがもたらす影響などを考察し、意見の記述や議論する活動を行う。
c	主体的に学習に取り組む態度	現代の世界の実情を理解しグローバル化する社会で主体的に生きるため、グループ学習等を通じ主体性や興味・関心を持つ。

3 全体計画

期	月	単元	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法				
				a	b	c						
前 期	4	第1部 地図でとらえる現代世界	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決する。	○	○	○	授業参加態度 定期考査の得点 課題提出など					
		第1章 地図と地理情報システム										
		1節 地球上の位置と時差										
		2節 地図の役割と種類										
		第2章 結びつきを深める現代世界										
		1節 現代世界の国家と領域										
	5	2節 グローバル化する世界	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○						
		第2部 国際理解と国際協力										
		第1章 生活文化の多様性と国際理解										
		1節 世界の地形と人々の生活										
		6						2節 世界の気候と人々の生活	③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○
								3節 世界の言語・宗教と人々の生活				
4節 歴史的背景と人々の生活												
9	5節 世界の産業と人々の生活		○	○	○							
前期中間考査												
前期末考査												

後 期	9	5節 世界の産業と人々の生活								授業参加態度 定期考査の得点 課題提出など
		第2章 地球的課題と国際協力	①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が重要であることなどについて理解する。						a地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の内容を理解している	
		1節 複雑に絡み合う地球的課題							b地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決方法を発表できる	
		2節 地球的環境問題							a地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について理解している	
		3節 資源・エネルギー問題							b地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現している	
		4節 人口問題							a世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について理解している	
									b世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について考察している	
									c積極的に授業に参加している	
		11								
	後期中間考査									
	11	4節 人口問題	③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする							授業参加態度 定期考査の得点 課題提出など
		5節 食糧問題							a発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について理解している	
		6節 都市・居住問題							b発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について、多面的・多角的に考察し、表現している	
		第3部 持続可能な地域づくりと私たち	①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術を身に付ける。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。							授業参加態度 定期考査の得点 課題提出など
		第1章 自然環境と防災								
		1節 日本の自然環境							aプレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について理解している	
		2節 地震・津波と防災							bプレートが重なり合う日本列島について多面的・多角的に考察している	
		3節 火山災害と防災							a二つの震災と防災の取り組みについて理解しており、地理的技術を身に付けている	
		4節 気象災害と防災							b二つの震災と防災の取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現している	
		5節 自然災害への備え							a火山の恵み・災害と共生する取り組み、火山灰と共存する取り組みについて理解し、地理的技術を身に付けている	
									b火山の恵み・災害と共生する取り組み、火山灰と共存する取り組みについて考察できる	
		第2章 生活圏の調査と地域の展望							a地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について理解している	
		1節 生活圏の調査と地域の展望							b地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、多面的・多角的に考察し、表現している	
								c地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究している。		
後期末考査										

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	40	40	40	40
b	30	30	30	30
c	30	30	30	30
計	100	100	100	100

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ・授業の内容を正確に理解するために、集中して参加しましょう。
- ・提出物がある場合、確実に期限を守りましょう。
- ・授業への参加態度、提出物の有無、考査の点数を平均的に評価します。偏りの無いように留意してください。